

放課後等デイサービス 自己評価表

評価期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

評価者：うめっこスポーツ職員 4名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	4			療育スペースや休み時間スペースを区切り、場所の確保をしております。また、一日の定員が15人を上回らないように設定しております。
②	職員の配置数は適切であるか	4			法律で定められている規定の職員配置になっております。
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1		視覚表示を設けており、誰が見ても分かるようにしています。また、飛び出し防止の為に下駄箱の設置場所を考慮したりしています。
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			日課の打ち合わせ・振り返り、処遇会議等で職員全員がPDCAサイクルを意識し療育の改善や、子どもの成長に合わせた課題の提供を行えるようにしています。
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し業務改善につなげているか	4			年に一回保護者アンケートを実施しています。保護者様からのご要望を受け止め、お応えできるように努めています。
⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			事業所のHPやアプリにて保護者様宛に公開をしております。
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	今年度も第三者機関による評価は行っていません。
⑧	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	4			法人の職員研修を毎月1回受講しております。また事業所内でリミック研修等を行い、事業所内での療育の質を高められるよう努めています。
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成して	4			日頃から職員間で子ども達の様子を情報共有しています。その上で保護者様やお子さんの要望を組み込み、ニーズに沿った計画を作成

		いるか				しております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			事業所統一のアセスメントツールを活用しています。また令和6年度からは新たなアセスメントツールの導入を検討しております。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			療育後の振り返りから、子どもたちの現在の様子に合わせた課題の提供を行えるよう会議を開き、計画を立案したりしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			小学生の療育では毎月教材変更を行いその都度教材の見直しを行っております。未就学の療育でも、大まかな流れの変更はありませんが、取り組む教材の難易度を変える等の工夫をしております、
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			平日や学校休業日等の利用状況に応じて時間割を変更しています。また、今年度は長期休みに特別なプログラム(縁日、レクリエーションなど)を取り入れました。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			子どもたちの様子から個別に合わせて対応を行っております。また小学校の様に、集団での指示に合わせて活動を切り替えられるよう計画を作成しております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			療育前には必ず打ち合わせを行っております。子ども達に合わせて支援が行えるよう共通認識を行っております。また送迎確認等も行い、安全に留意しております。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			出来る限り当日にフィードバックを行っております。当日が難しい場合は必ず翌日に職員全員で振り返りを行っております。①職員の対応②子どもの様子の視点を重視しながら支援の内容を職員間で共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			毎日業務日報や個別支援シートを使用し記録しております。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			小学生の日課・未就学の療育内容を、定期的に職員全員で個別支援計画書の見直しの必要性があるか

						確認をしております。
⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4				職員全員での読み合わせを定期的に行い、全職員が同じ方向を向いて療育に取り掛かれるよう努めております。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参加しているか	4				該当のお子さんについての日々の様子について職員間で情報交換・振り返りを行い、管理者が出席しています。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	2			年度初めに年間計画や毎月の下校時刻表を頂いております。急遽の予定変更になった際は、学校側と連絡を取り、対応を行っております。下校時間の変更等の情報
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		1	3		当施設は運動と学習に特化した内容で療育を提供しています。そのため、医療的ケア児の支援ニーズに合致しない内容となっています
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4				保護者の了解を得た上で 関係各所との情報共有を行っています。小学生で契約した方については園との情報共有は行っておりません。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			4		現時点で障害福祉サービス事業所へ移行した事例はありません。今後、情報提供が必要なケースがある場合は、適切に行います。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		2	2		今年度は1回保健センター主催の研修に参加をしました。子どもの発達について職員間の理解を高めていきます。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4		当事業所では療育トレーニングに特化している為、そのような機会は設けておりませんが、昨年度同様地域の小学生が参加できるイベント等での交流を検討していきます。
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			4		今年度の参加が出来ませんでした。来年度は必ず参加をします。

⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	4			送迎時やその日の連絡帳にお子様の様子についてお伝えしています。その他に WISC の検査等受けた場合は保護者様から共有させて頂くようにしております。また、個別支援計画書のお渡し時に、保護者様のお悩みやお子様のお家での様子・事業所での様子を共有し、共通理解ができるように努めています。
㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	4			講師の方を招いて研修会や座談会を実施しました。来年度も機会を設けたいと考えておりますので、ご参加お待ちしております。
㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約の際重要事項の説明をさせて頂いております。また、ご不明な点がある場合はその都度、お声がけください。
㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			必要に応じて面談を実施したり、速やかに対応できる体制を整えております。いつでもお気軽にお声がけ下さい。
㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4			未就学の保護者様向けの座談会を行いました。来年度も同じ悩みを持つ保護者様が交流できるような場を設けさせていただきます。また、成長発表会ではスポーツ・リズム共に沢山の保護者の方にお集まりいただきました。
㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情やご意見に対しては、管理者からすぐに責任者へ報告し、当日の対応を努めています。また、再発しないよう職員間で共有を行い、改善に努めております。
㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			SNS(自社 HP/インスタグラム)での活動報告、毎月の「うめっこ通信」の配布を行うことで、情報を発信しています。保護者アンケートでは SNS をご覧になっていない方が多かったため、多くの方に見て頂けるよう事業所からも発信をしていきます。
㉗	個人情報に十分注意しているか	4			利用児童の個人情報の使用に注意

						を払い、事業所外への持ち出しには十分配慮しています。また、SNS等で写真を使わせて頂く際は職員間で使用させて頂く写真の確認を二、三重して行っております。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			コドモンでの一斉送信の連絡だけでなく、送迎時に直接確認をする等、各ご家庭に合わせてお知らせをしています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		2	2	今年度は関係機関の方（小学校の先生等）を成長発表会へ招待し、観覧して頂きました。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			自社HPや事業所の入り口付近へ掲示しています。また、職員自身も定期的に見返すことで、もしもの際に適切な対応が出来るようにしていきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			長期休み期間に小学生と避難訓練を行いました。その他に同系列のこども園の避難訓練に参加をし、緊急時を想定した訓練を行っています。
	④⑩	虐待を防止するための職員研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			今年度は福社会全体で議題としてあげ、研修を2回実施しました。また普段の療育の振り返りで、虐待と見られる行為が行われていないか職員間で議論し、防止に努めています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			契約時、契約書の書面にて説明し、保護者の方に同意を頂いています。 事業所の職員に関しても、身体的虐待の身体的拘束についての定義について、理解を深められるように努めて参ります。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			今年度から長期休みに給食の提供を行っています。全ご家庭にアレルギーの有無をお聞きした上で、アレルギーがある方には同意書や診断書のコピーを提出して頂いております。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して	4			職員全員が気付きの目を養えるよ

		事業所内で共有しているか				うヒヤリハットを上げています。 ヒアリハットがあった場合には、その日のうちに職員間で周知を行い、ヒアリハットが起こりやすい場面を統計的に割り出せるようにしています。
--	--	--------------	--	--	--	---

令和6年4月8日